

2021年6月24日

各位

会社名 マックスバリュ西日本株式会社  
代表者名 代表取締役社長 平尾 健一  
(コード:8287、東証第二部)  
問合せ先 取締役管理担当 伊渡村 直樹  
(電話番号 082-535-8550)

## 2020年度当社取締役会の実効性に関する評価の結果について

当社は、イオンの基本理念のもと、お客さま、地域社会、取引先、株主、従業員など、様々なステークホルダーの視点から、経営の透明性・公正性やリスク管理の徹底、適時適切な情報開示に配慮しつつ、企業経営の効率性と経営の意思決定の迅速化を高めることを通じて、企業価値の継続的な向上を図ることをコーポレートガバナンスの基本方針としております。この方針に基づき、当社取締役会は、取締役会の実効性について定期的に分析・評価をおこない、洗い出された課題に対する改善策を検討し、実施しております。

本日開催の取締役会において、2020年度の評価と分析結果から認識された課題の確認、並びに実効性を改善する取り組みを決定いたしましたので、その内容を下記のとおりお知らせいたします。

### 1. 評価方法とプロセス

(1) 2020年3月、取締役会議長を含む全取締役・監査役を対象に、以下を項目とするアンケートを実施いたしました。アンケートは、各項目の設問を5段階で評価の上コメントを記載する形式で、現状の実効性を把握するとともに課題を抽出いたしました。

- ① 取締役会の構成と運営
- ② 経営戦略と事業戦略
- ③ 企業倫理とリスク管理
- ④ 業績モニタリングと経営陣の評価・報酬
- ⑤ 株主との対話

(2) 4月、アンケート結果に基づき、課題・改善策について取締役会で議論いたしました。

(3) 6月、実効性の評価結果と改善策を、取締役会で確認いたしました。

### 2. 分析および評価結果

(1) 取締役会の構成は適切であり、その運営は適切に管理されています。また、取締役・監査役への事前の説明、議案説明が行われ、取締役会における審議の質の向上に寄与しています。

(2) 経営方針・中期戦略の決定、および重要な業務執行にかかる決定・監督において、取締役会で議論がなされており、取締役会はその役割・機能を適切に果たしています。

(3) 一方、決定された戦略や事業計画の進捗モニタリング、自由闊達な議論を深めることにおいて、さらなる改善と取締役会の機能向上が期待されていることを確認いたしました。

(4) また、取締役・監査役に対する適切な情報提供、役員トレーニングを適時適切におこない、取締役会における審議の質のさらなる向上が期待されていることを確認いたしました。

### 3. 今後の取り組み

- (1) 取締役会は、経営方針・中期戦略を定期的にモニタリングするとともに、経営陣に必要な助言を行い、経営課題を解決するべく PDCA のスピードを上げてまいります。
- (2) 取締役・監査役に対して、その職責を十分に果たすため、経営の監督、監査を行う上で必要な「事業活動にかかる情報・知識」を継続的に提供してまいります。また、取締役会における議論の活性化、審議の質の向上のため、議案の事前説明会の実施を行うとともに必要な情報を適切に提供してまいります。
- (3) 取締役会は、経営の基本方針として企業戦略等の大きな方向性を示すとともに、その方針に従って業務執行を行うことを経営陣に委ね、経営陣の業務執行を監督するモニタリング・モデルにシフトするため、必要な環境を整備してまいります。

以上